

8月14日：VN 指数は続伸（VN-Index +0.38%）

- 投資家の警戒感から、VN 指数は先週末の終値付近で始まり、その後も狭いレンジで横ばいの展開となった。
- 警戒感は大型株を中心に広がっており、中小型株は相対的に堅調な動きだった。
- 午前中の取引の終わりにかけて、流動性を伴った買いが金融サービスセクターに入り、指数は上昇した。
- 午後に入ると売りに押される場面もあったが、最終的には上昇して取引を終えた。
- 315 銘柄が上昇、159 銘柄が下落、58 銘柄は変わらずと、幅広い銘柄が買われた。
- 流動性は増加し、売買代金は 23.5 兆ドンに達した。

VN-30 指数も上昇して引ける（VN30 +0.21%）

- 大型株で構成する VN30 指数は 17 銘柄が上昇、11 銘柄が下落、2 銘柄が変わらずだった。
- BID (+1.9%)、VIC (+1.0%)、HPG (+1.6%)、GVR (+2.1%) などの上昇が指数の上昇に寄与した。
- 半面、VCB (-1.5%)、MSN (-2.7%)、SSB (-2.1%)、VRE (-1.5%) などは下落し相場の重しとなった。

セクター・個別株の動き

- GVR、PHR、DPR は7月のゴム製品の輸出が年初来で最大となっていることを受けて買われた。
- DCM と DPM といった肥料製造業者は世界の価格上昇に伴い販売価格を引き上げ始めたことが好感され、そろって上昇した。
- 外国人投資家はホーチミン市場で 9,565 億ドンを売り越した。MSN と BVH が売られた一方、HPG は唯一の目立った買い越しだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。